

【静岡県 西伊豆町】

校務 DX 計画

(1)教員と保護者間の連絡のデジタル化

クラウドサービス「すぐーる」を活用し、配付物をデジタル配信にすることで、紙の使用を削減する。またアンケート等も「すぐーる」から行えるので、児童生徒が保護者に配付物を渡し忘れ、重要な連絡が届いていないという事例も少なくなる。

(2)学校内の連絡のデジタル化

アプリやGoogleドライブ、ロイロノートといったクラウドツールを積極的に活用し、教員間の情報共有を行う。校内の研修や職員会議の資料においても、クラウド上で共有することにより、印刷時間の短縮や情報共有の迅速化にもつながる。また、教員と児童生徒の連絡も、Google Classroom やロイロノートといったクラウドツールを活用し、効率化することができる。

(3)教職員の ICT 活用支援

Google が行っている研修「Kickstart」を学校で行う。Chrome book の使用方法や Google の基本操作や授業中に使える操作等の研修を全ての学校で行うことで、学校の ICT 活用の差を縮めることができる。また、現在ICTに詳しい教職員が他の教職員をサポートしているが、その負担を減らすことができる。また、「静岡県 ICT エキスパート派遣事業」の中にも Chrome book の活用講座を行ってくれるエキスパートがいるので、令和7年度以降県の派遣事業がある場合、町でも事業を取り入れ実施したい。